

現代 GP「バリアフリーによる双方向スポーツ教育活動」と 岡山大学スポーツ教育センター オープニングセレモニーについて

2006.5.23

岡山大学は、文部科学省が行う現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）に、平成 17 年度申請した「バリアフリーによる双方向スポーツ教育活動」が採択され、平成 18 年度にはスポーツ教育センターが設置されました。

この現代 GP プログラムでは、スポーツ教育活動の発想を転換して、岡山県下の産官学民と協働することで、大学のスポーツ教育活動における人材・空間・時間・種目・情報などのバリアフリーを推進し、大学と地域が双方向に交流する「双方向スポーツ教育活動」を新たに展開するものです。

スポーツ教育センターには、全学的な協力のもとにスポーツ相談室が設けられ、学生・教職員だけでなく地域の皆さんからのスポーツ相談に応える体制が準備されています。またスポーツ講座として月に 1～2 回程度、講演や実技講習会を開催します。その他、総合型地域スポーツクラブとの連携や、学外スポーツ施設の活用、部活動・サークル活動への支援と単位化などの試行も始まります。

平成 18 年 6 月 6 日（火）18 時より岡山大学スポーツ教育センターオープニングセレモニーとして、下記の通り講演会を企画しています。この機会に学内はもとより、地域の皆さんをはじめスポーツに関心のある多くの方に「スポーツ教育センター」を知っていただきたいと考えています。この会への参加は無料です。多くの方の参加をお待ちしています。

本年度よりスタートする岡山大学スポーツ教育センターの活動に、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

スポーツ教育センター 副センター長 高橋香代
岡山大学教育学部 鈴木久雄

記

岡山大学スポーツ教育センター オープニングセレモニー

日時：平成 18 年 6 月 6 日（火）18:00～20:00

場所：岡山大学 50 周年記念館

「スポーツ教育センターの役割と今後の活動」 副センター長 高橋香代
教育学部助教授 鈴木久雄

岡山大学津島地区学生から期待するもの

岡山大学鹿田地区学生から期待するもの

陵門会から期待する

招待講演 座長 附属病院総合リハビリテーション部長 千田益生

「スポーツ障害の予防のためのエクササイズ、ストレッチの方法」

講師：中野ジェームズ修一（フィジカルトレーナー）先生

連載

スポーツと健康 1

スポーツ教育センターがスタート

「スポーツと健康」がテーマのこの連載を、本学に新設されるスポーツ教育センターの話題でスタートしたいと思います。多くの学生・教職員の皆さまには初耳かもしれませんが。文部科学省が行う現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP）に、平成17年度に本学から申請した「バリアフリーによる双方向スポーツ教育活動」が採択され、18年度にスポーツ教育センターが設置されることになりました。この「バリアフリーによる双方向ス



ポーツ教育活動」について、

まず皆さまのご理解をえたいと思います。

本学に限らず、総合大学のスポーツ教育活動を振り返ってみると、例えばスポーツ実習では、同世代の学生集団が教員の指導のもと、学内の施設で決められた時間と同じ種目を行っています。これでは、一方的に与えられたスポーツ教育活動と言えるのではないのでしょうか。また、学生が自主的に取り組んできた、運動部やスポーツ系サークル活動への支援も、

改善されつつあるとはいえ十分とはいえません。

これまでの大学の授業といえば、教員が教壇から一方的に講義を行うことがほとんどでした。それだけでは、知識は与えられても、学生自身が主体的に学ぶことにならないという反省から、演習形式や問題解決学習を取り入れられてきました。特に岡大では、学生が提案して授業科目をつくるシステムがあります。「癒しの公園計画」「大学授業改善論」に続いて、今年度からは「ドラえもん科学」が開

講されます。この

システムは「新機軸『学生参画』による教育改善システム」として、17年度特色GP（特色ある大学教育支援プログラム）に採択されています。このような取り組みの中で、本学は、「自ら考え、発信し、行動する」人材を育成しようとしています。

そこでスポーツ教育活動も発想を転換して、「自ら考え、発信し、行動する」人

材を育成する仕組みをつくってみては、と考えました。それが、大学のスポーツ教育活動における人材・空間・時間・種目・情報などのバリアフリーを推進し、岡山県下の産官学民と協働して、大学と地域が双方向に交流する「双方向スポーツ教育活動」の企画です。スポーツ教育センターには、全学的な協力のもとにスポーツ相談室が設けられ、学生・教職員だけでなく地域の皆さんからのスポーツ相談にこたえる体制が準備されています。その他総合型地域スポーツクラブとの連携や、学外スポーツ施設の活用、部活動・サークル活動への支援と単位化などの試行も始まります。

スポーツ教育センターは、このようなスポーツ教育活動の企画と円滑な実施に加えて、スポーツ研究の推進、スポーツを通じた地域貢献を担います。「スポーツと健康」は、スポーツ教育センターにおける重要な研究テーマであり、地域貢献にも役立ちます。今年度からスタートする本センターの活動に、学内外の皆さまのご理解とご協力をお願いします。



教育学部 教授
高橋 香代
たかはし かよ